

JACIC news

2023

4月号/No.407

JACIC 一般財団法人日本建設情報総合センター

JACIC からのお知らせ

令和5年度(一財)日本建設情報総合センター 研究助成公募案内

(一財)日本建設情報総合センターでは、建設分野における情報・システムを活用した調査研究を助成の対象とし、以下の対象課題に関する調査研究を広く募集します。

建設技術の向上、建設事業の効率化、国土の安全と有効活用促進に資するため、多くの研究者の積極的な応募を期待しています。

1. 公募期間

令和5年3月13日（月）～令和5年6月30日（金）

2. 研究助成の対象課題

1. 指定課題

- ① 建設情報の標準化に関する調査研究
- ② 3次元モデルや3次元データの活用による建設生産性向上、維持管理の効率化・高度化に関する研究
- ③ 建設分野におけるデータベース、データプラットフォームの活用に関する調査研究
- ④ ICT等に関する技術（AI、5G/IoT、XR（VR、AR、MR、SR）、センシング技術、画像処理技術等）の建設分野における活用に関する調査研究
- ⑤ 建設分野の各プロセス（測量、調査、設計、施工、維持管理、防災対応等）及び建設現場での危機管理時の業務継続におけるICT活用に関する研究
- ⑥ 建設分野の情報技術者の育成に関する調査研究
- ⑦ 市民学習（インフラ整備・管理や防災等）への活用に関する調査研究

2. 自由課題（上記①～⑦以外で、当財団の業務に関連する課題）

3. 助成対象者

上記研究項目に関心を有する大学、高等専門学校、民間（各種団体が運営する委員会等も含む）等の研究者とします。

申し込み件数は1人あたり1件（共同研究の場合も同様）とします。

4. 助成期間

助成期間は、令和5年9月1日から令和6年11月30日まで（1ヵ年）もしくは令和5年9月1日から令和7年11月30日まで（2ヵ年）とします。

5. 助成額及び採択件数（あわせて8件程度を予定）

- ・2ヵ年の研究……………助成額600万円以内 1件以内
- ・1ヵ年の研究……………助成額300万円以内 3件程度
- ・1ヵ年の研究……………助成額100万円以内 3件程度
- ・若手の1ヵ年の研究・助成額100万円以内 3件程度（令和6年4月1日時点で満35歳以下）

公募案内の詳細は、JACICのホームページ（<https://www.jacic.or.jp/>）に掲載していますので、確認の上ご応募ください。

令和4年度は、7件（2ヵ年の研究1件、1ヵ年300万円以内の研究2件、1ヵ年100万円以内の研究2件、若手の研究2件）が採択されました。

問合せ先 一般財団法人日本建設情報総合センター 建設情報研究所

E-mail: grant-prog@jacic.or.jp

（建設情報研究所 主任研究員 清水知子）

地方便利

四国地方センターの活動

■近況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する社会の取り組みの現状を踏まえ、感染拡大防止に組みながらも、対面での対応等、効率的な業務の推進に取り組んでいるところです。

また、JACICルーム専門画面のプロトタイプも試行され始めてきていることから、四国4県（愛媛・香川・高知・徳島）を担当管内として、前回報告（2022.7月号）以降の各種システム等の普及促進活動の状況をご紹介します。

■JACICルームの普及

□情報通信設備点検専門画面の試行

JACICルームの長所であり、現場情報共有の即時性やクラウドサーバーでのデータ保管機能を使った情報通信設備点検業務の活用試行に取り組んでいます。

従前の野帳でメモを取りながら点検を実施し、現場終了後デスクで結果を整理するやり方から、点検しながら様式に直接入力し、その結果をアップロードする事により、関係者間の情報共有を迅速に行い、作業の効率化を目指す取り組みです。

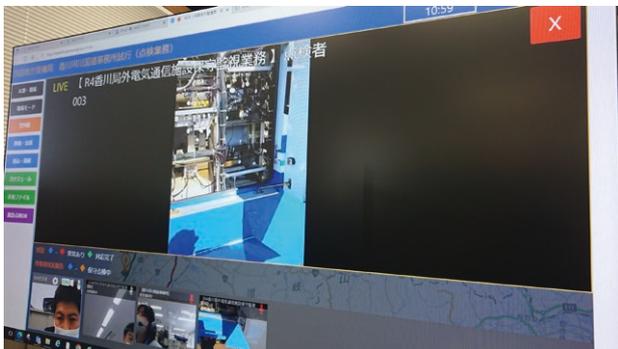


写真1 JACICルーム 異常時の情報伝達訓練の様子
衛星通信車の基盤を撮影共有している画像

□情報共有ルームの活用

また、四国山地砂防事務所では基本的な情報共有（官、民）のため、JACICルームを活用し、受発注者間双方で随時最新データにアクセスする取り組みのため、クラウドサービスの利用を始めていただきました。

JACICルームの基本機能でありますArcGISを用いて、事務所管内（祖谷川・南小川流域、吉野川上流域、重信川流域等）約1000km²の赤色立体図の閲覧にも活用して

いただいているところです。



写真2 情報共有ルーム
ArcGIS基板による事務所管内赤色立体図閲覧

■発注者技術者 BIM/CIM研修の実施

四国地方整備局におけるBIM/CIMを推進するため、発注者が担う役割を習得する研修を運営いたしました。

四国四県それぞれの事務所に所属する若手技術職員を主な対象として、各県ブロック10名ほどの研修員が参加し、初日がリモートによる座学（BIM/CIM全体像と発注者の役割及びBIM/CIMに関する基準類の紹介）、二日目は対面による3次元CADの習得実技演習を実施いたしました。現場経験の少ない若手技術者からは3次元設計は建築物が理解し易く有用との意見も聞かれました。



写真3 令和5年2月17日 松山河川国道事務所
対面演習での意見交換の実施状況

■四国地方センター 今後の活動

皆様の元へJACICルーム活用等のご説明に伺った際には、忌憚のないご意見をお聞かせ願います。

（四国地方センター長 川西浩二）

■編集・発行 一般財団法人日本建設情報総合センター

〒107-6114 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル14階
TEL. (03)3505-2981(代表) FAX. (03)3505-0414
ご意見・お問い合わせ先: <https://www.jacic.or.jp/about/syozai/syozai.html>
JACICホームページ <https://www.jacic.or.jp/>



編集・構成 日本印刷株
TEL. (03)5911-8660